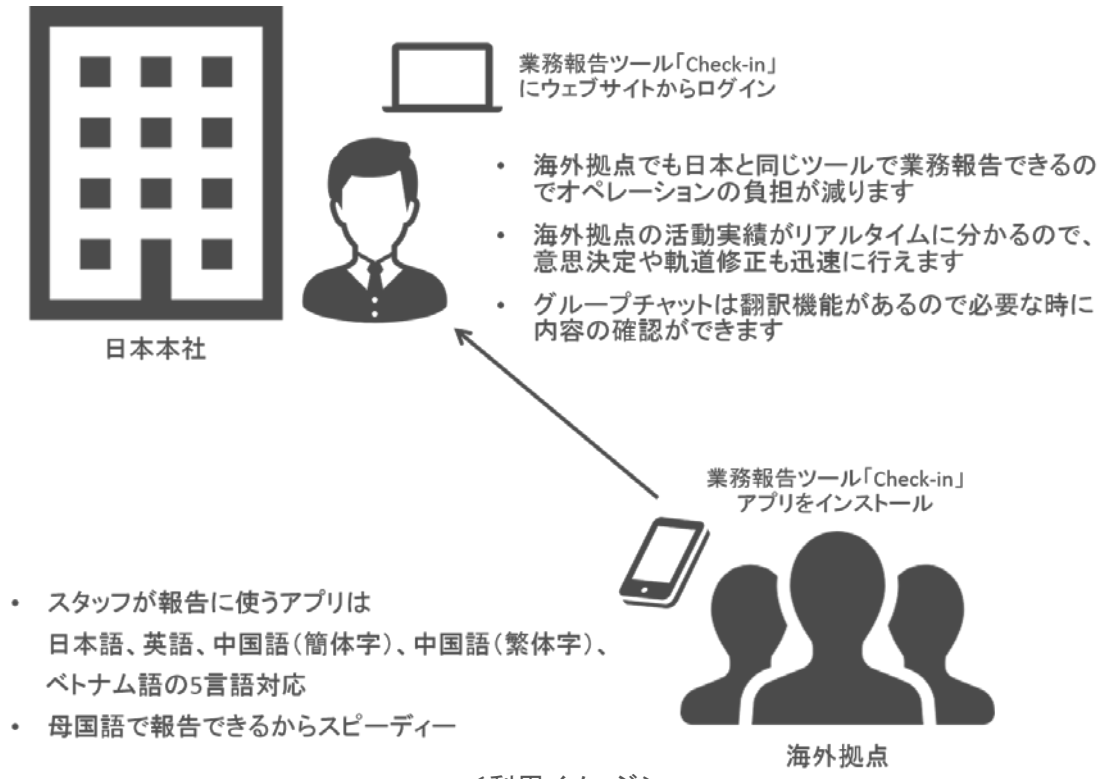
ニュースリリース

2018 年 11 月 28 日
西菱電機株式会社

業務報告ツール「Check-in」の 5 言語対応
外国人従業員が母国語で使えるアプリで海外拠点マネジメントをサポート

西菱電機株式会社（本社事務所：大阪府大阪市、代表取締役社長：西岡 伸明、以下「西菱電機」）は、2018 年 11 月 28 日より、業務報告ツール「Check-in」のスマートフォンアプリを多言語で提供開始いたします。今回のバージョンアップで、日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、ベトナム語の 5 言語に対応いたします。



＜利用イメージ＞

■背景

経済産業省の海外事業活動基本調査によると、現地法人従業員数は 559 万人で増加傾向です。海外に進出する日系企業では、海外拠点のスタッフが使いやすいツールで、日本から円滑にオペレーションをしたいという課題があります。そのようなケースにおいて、業務報告ツール「Check-in」の導入で以下のメリットが考えられます。

・海外拠点でも日本と同じツールが使用できるのでオペレーションの負担が減る
・海外拠点の活動実績がリアルタイムに分かるので意思決定が迅速に行える
・外国人従業員は母国語でスピーディーに報告ができるのでストレスも少ない



英語　　中国語(簡体字)　　中国語(繁体字)　　ベトナム語

＜アプリイメージ＞

■西菱電機株式会社

IoT サービスを中心とする「IoT 事業」、携帯情報通信端末の販売及び修理再生などを手がける「情報通信端末事業」、情報通信機器及びシステムの開発、販売、保守、運用を手がける「情報通信システム事業」を展開する ICT ソリューション企業です。

■「Seiryo Business Platform (SBP)」とは

「Seiryo Business Platform (SBP)」とは、西菱電機が提供する IoT サービスとコミュニケーションツールの総称です。IoT やコミュニケーションツールを活用したデータ計測や自動化により、業務の数値化や手間の多い業務の効率化など、お客様の現場改善と生産性向上をご支援いたします。

■Check-in とは

外出先や現場からスマートフォンで“現場到着と出発の報告”、“自社で作成したフォーマットでの状況報告”を簡単に行える業務報告ツールです。「Check-in」の活用により、報告書作成時間の短縮、素早い報告が可能となり、現場は業務効率を上げることができます。本部では、報告書データを Excel 出力し活用することで精度の高い業務分析ができます。

【本件に関するお問い合わせ先】
西菱電機株式会社　本社事務所：大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル
広報グループ（本社事務所）TEL：06-6345-4160
事業開発本部（東京支社）　TEL：03-5777-3944　E-mail：info@cs.seiryodenki.co.jp